



二所ノ関



七月場所結果

序ノ口		序二段									三段目						幕下		十両	幕内
東22	東筆頭	西90	東86	西72	西63	東63	西44	西36	西17	西12	東72	東71	東56	東54	西53	西10	西54	西7	西4	西横綱
田中	西勢郷	総勢山	住吉	山田	内間	足立	澁谷	阿見大心	谷口	貴正道	今村	林龍	羅漢児	藤宗	麟虎	麒麟龍	古田	花の海	白熊	大の里
4 3	2 5	3 4	1 6	1 6	5 2	4 3	3 4	2 5	4 3	4 3	3 4	3 4	4 3	4 3	4 3	5 2	3 4	2 5	5 10	11 4

九月場所新番付

序ノ口		序二段									三段目						幕下		十両	幕内
東10	東3	西102	東102	西86	西93	西76	西74	西23	西20	東18	東78	西72	東40	西37	東37	東7	西48	東24	東9	東横綱
西勢郷	住吉	総勢山	山田	田中	足立	阿見大心	澁谷	内間	今村	林龍	谷口	貴正道	羅漢児	藤宗	麟虎	古田	麒麟龍	花の海	白熊	大の里

大の里、新横綱の場所は 11 勝

新横綱として土俵に上がった大の里は 11 勝で名古屋場所を終えた。横綱土俵入りが毎日あり、注目度は今までの比ではない。感じたことのない重圧の中で相撲を取り、らしくない取組も数番あった。歴代の横綱達も新横綱の場所は苦戦する中で 11 勝は及第点か。師匠は新横綱で優勝。三代続けての新横綱優勝を逃したことだけが悔やまれる。こんな所でも師匠の偉大さがわかったことであろう。場所後は暑くてながい夏巡業に参加。「夏に鍛えて強くなる」と相撲界では昔から言われるとおり、暑い中鍛えて九月では賜杯奪還といきたい。



試練が続く白熊

ここ数場所負け越しが続いていた白熊。奮起を期して名古屋に向けて準備をしていたが、思わぬ体調不良などに見舞われた。師匠は休場を勧める中、本人の強い意志で出場。苦戦を強いられたが、この経験はまた 1 つ糧になったはず。今度こそは！という覚悟が見える稽古が続いている。九月はいよいよ眠りから覚めた白熊が見れる。

麒麟龍 5 勝、幕下返り咲き

三段目に降格してしまっていた麒麟龍が 5 勝。幕下復帰を決めた。結果が良い時も悪い時も黙々と努力を続ける麒麟龍。少しずつだが身体も大きくなり、地力も付いている。名古屋からは大の里の付け人頭を務め、綱締め最重要ポストである。この経験も無駄にせず、大きな飛躍をそろそろ見せてほしい。

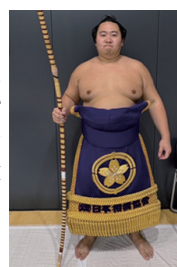


二所ノ関親方の総評コーナー！

大の里について。新横綱で優勝するのは難しいことです。苦戦しましたが、終盤までは優勝争いに絡んだことはまあまあだったんじゃないかと思います。少し負け方が悪かったので、そこを改善し、九月場所に向けてしっかり身体が張る様に、稽古も私生活も改善して欲しい。内間が一気に序二段の中位まで上がりましたが、良い相撲で勝ち越しました。大きな身体ですが、まだまだ子供の身体です。しっかり身体づくりさせます。田中も序の口デビュー場所で勝ち越し。落ち着いて相撲が取れたかと思います。今は突き押しの稽古をして前に出ればもっと良い相撲が取れるかと思います。全体で見るとやっぱり物足りない成績でした。幕下 2 人も負け越し、締まりがない感じです。私も調整法も考えなければなりません。九月場所、名古屋の悔しさを晴らせるような場所にしたいと思います。

羅漢児、巡業で弓取式デビュー

花の海に続いて羅漢児が弓取式に抜擢された。色白で手足が長い身体付きは弓取式に映える、ということで二所ノ関親方が指名。夏巡業から練習スタートし、巡業 2 週目に早くもデビューを果たした。今後は花の海と交代でおこなうことになる。満員のお客さんの前で大役を果たし、度胸をつけて相撲でも躍進してもらいたい。



内間連続勝ち越しの 5 勝

期待の大型、15 歳の内間が連続 5 勝。まだまだ荒削りな取り口だが、身体はまたパワーアップしており筋骨隆々になってきた。土俵での大物感とは打って変わり、普段はお茶目な様子を見せることも。そこはまだ 15 歳の青年である。このまま純粋な気持ちでどんどん力を付けてほしい。九月では三段目昇進に挑む。